



Masp

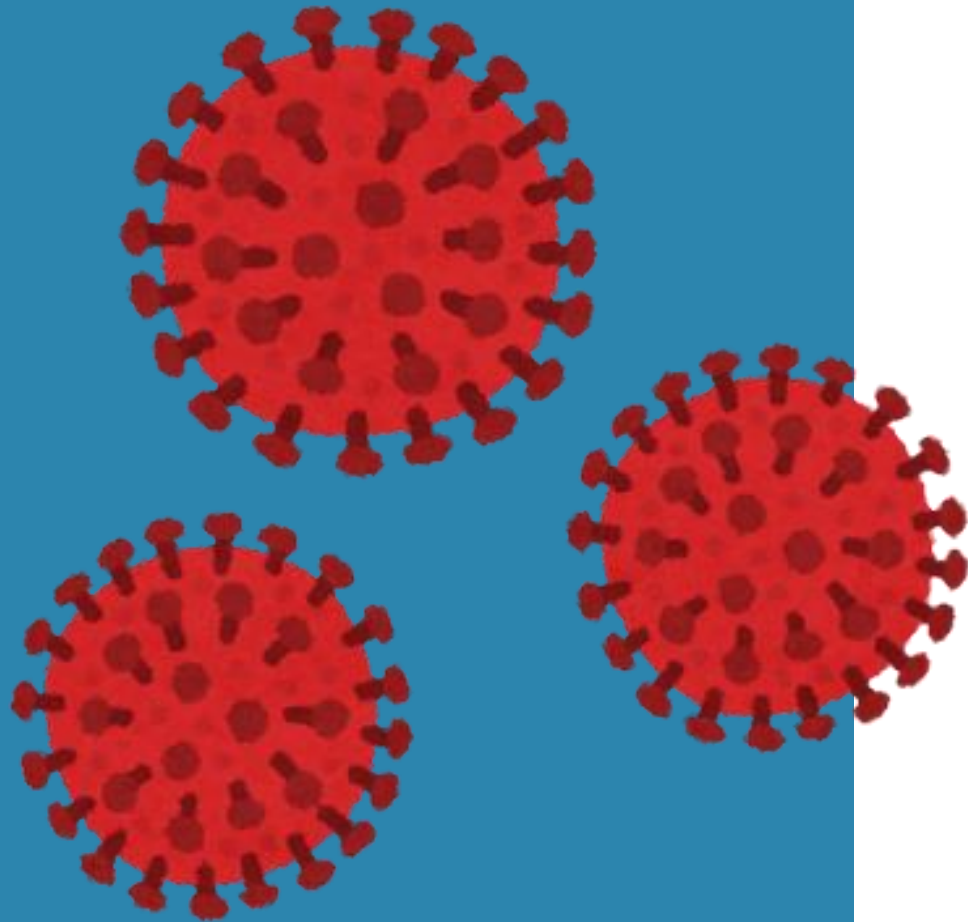
The Masp

Mask×Map

A proposal to a new lifestyle with
Masks and Covit-19

奈良先端科学技術大学院大学

- ・伊勢田氷琴
- ・後藤逸兵
- ・三嶋佑輝



新型コロナウイルスと私達の社会

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症は、多くの禍根を残しつつも、近年では収束に向かって社会は動き始めています。



マスク社会の到来

新型コロナウイルス感染症が社会にもたらした変化の中で、特に大きいものがマスク社会への転換です。



これまでの「具合の悪い人がつけるもの」というイメージから、「必ずつけなければならないもの」へと、マスクの地位は変化しました。

ニューノーマル時代



しかし、ワクチン接種が進み、社会が「ニューノーマル時代」に動きつつある最近では、マスクは必ずしも必須ではなくなりつつあります。

実際に、イスラエルなどの一部の国ではマスクの着用義務が解除されています。

ニューノーマル時代の新たな課題

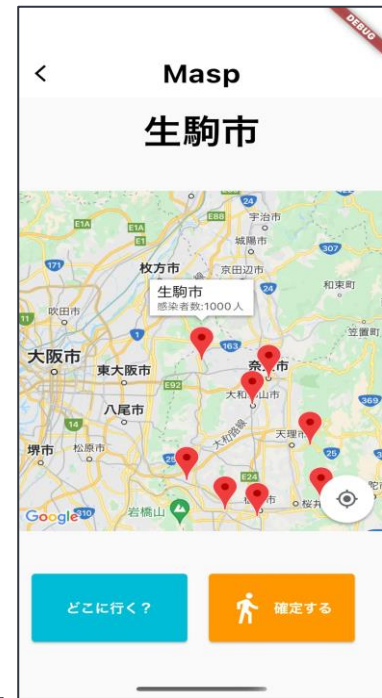
一方で、感染リスクは依然として存在することも事実です。

我々は、どこでマスクを付けるべきか、どこでならマスクを取ってもよいのか、ユーザが判断する基準となる情報を提供することが、コロナが収束したニューノーマル時代に変わりつつある現代の課題と考えました。

Masp Map×Mask

そこで我々は、ユーザ参加型のマスク情報提供アプリMaspを開発しました。

本アプリは、主にユーザが自分の住む地域が、自身の肌感覚でマスクを付けるべきか、そうでないか投票する機能、自分が行きたい場所で暮らす人々がマスクについてどう考えているかグラフで表示する機能の2つを持ちます。



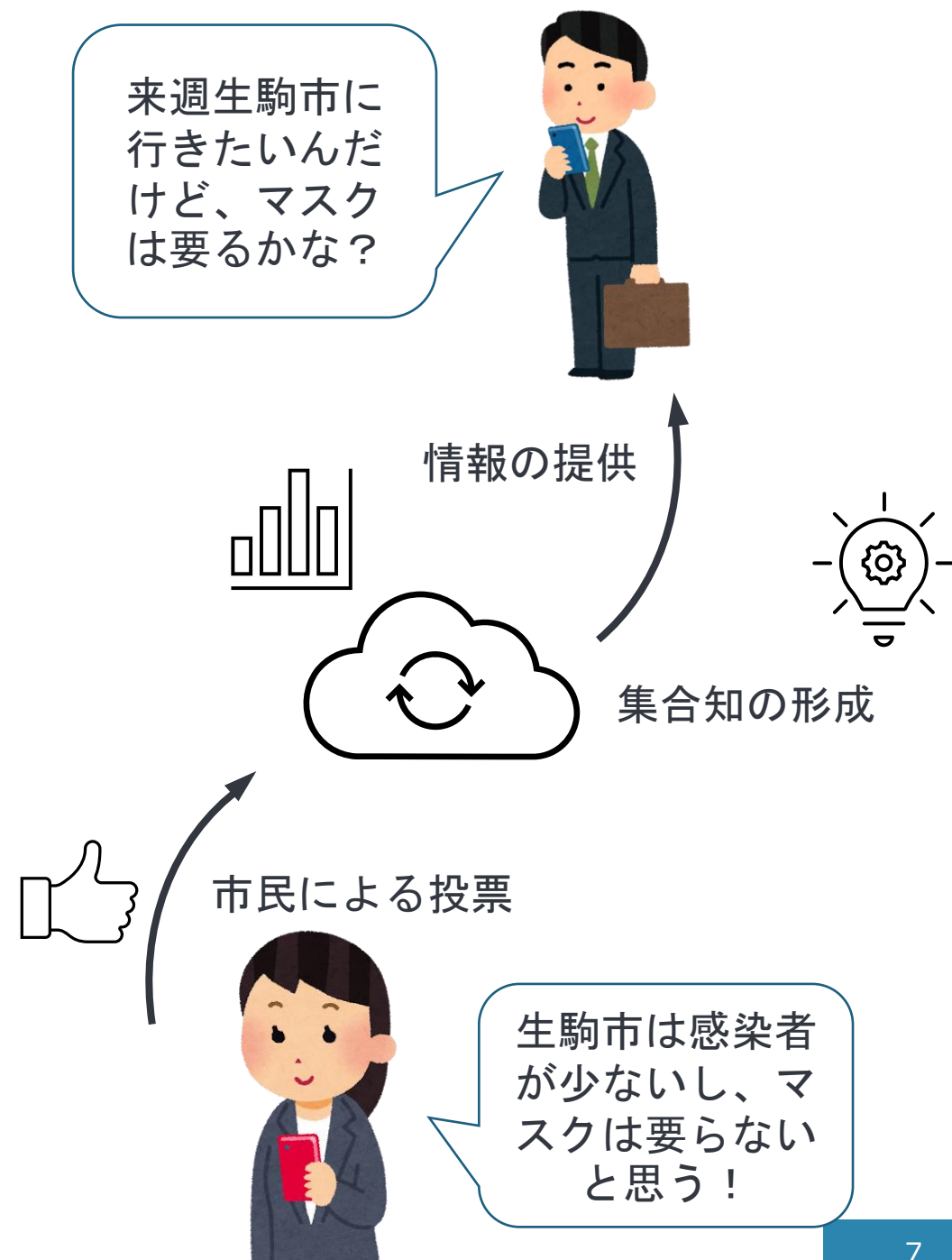
Maspの仕組み

ユーザーは自身が住む地域において、マスクを付けるべきか否か、自分の考えを投票します。

投票情報はクラウド上に集積され、集合知を形成します。

その地域を訪問したいユーザはマスクを付けるべきか、参考となる情報を得ることができます。UIはマップを見ながら直感的に操作できます。

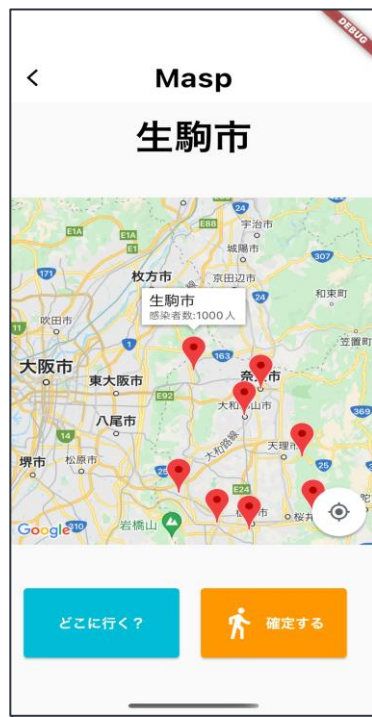
また、自分と同じ地域に住む他の人が、マスクについてどう考えているのかも知ることができます。



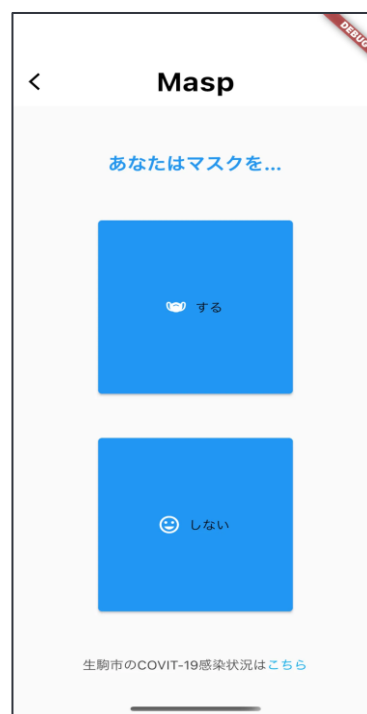
主な画面と機能



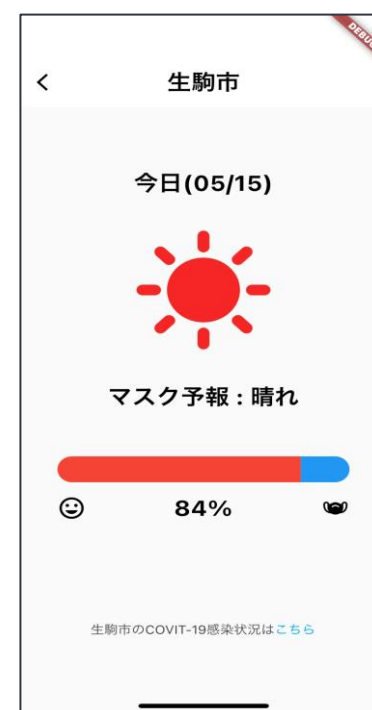
メインメニュー



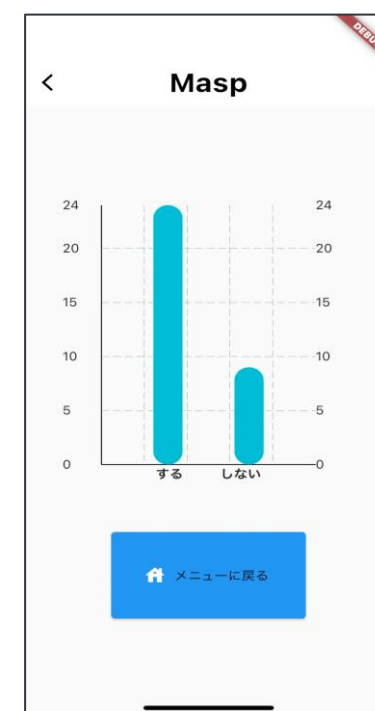
目的地設定画面



投票画面



マスク予報



投票結果表示

画面遷移



デモ

Maspの利用によるメリット



旅行やお出かけ
先でマスクを付ける
べきか判断する
基準となります。

自分が住んでいる
地域の人々がマ
スクについてどう考
えているか、知る
切っ掛けを提供し
ます。



ニューノーマル時
代の地域活性化
に貢献します。

マスク着用意識と
実際の感染者数
の分析等にも利
用できます。



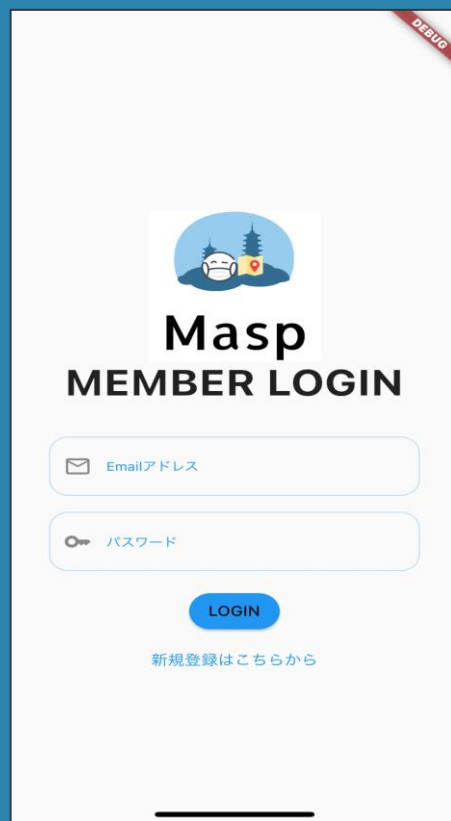
補足 1 : 工夫した点①



直感的でわかりやすいUIの設計

機能的でありつつも、アイコンを多用し、何をできるのかを直感的に理解できるように心がけました

補足 2 : 工夫した点②



プライバシーへの配慮

マスクの着用意識は、ときに機微な情報になり得ます。

IDとパスワードによる認証機能をfirebaseを使って実装し、プライバシーにも配慮できるようにしました。

補足 3 : 苦労した点

共同開発

メンバー全員が個人単位での開発経験しか無かったため、Githubを使って共同で作業を進めるのに苦労しました。

